



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)

第486号

2020年12月21日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 高津支所の存続を求める住民の請願を否決

12月定例議会に、高津支所の存続を願う請願が、地域にお住いの住民から提出されました。

14日開催の総務常任委員会では、公明党の緑川委員からは「圧倒的に住民票とか戸籍とか税関係の対応が一番多いと思うので支所を残すのはちょっと」、「支所が移転して連絡所なりが新たに設けられると理解しているので賛成できない」という意見がありました。

また、新未来の河野委員からは「戸籍住民課以外の仕事、本来はやるべきではない福祉関係などの取り扱いが増えてしまっているのでは？」という質問に、担当部署の戸籍住民課は「他課の分については、今はもう半数以上占めている」、「このサービスを急にやめるのは難しい決断なので、今後の検討の材料だと考えている」との答弁でした。

しかしこの請願は、日本共産党以外の賛成がなかったため不採択になってしまいました。

## 連絡所ではなく、高津支所を存続させるべき

総務常任委員会では日本共産党の植田議員は、「連絡所と支所の機能的な問題と体制の違いから地域住民は心配している。請願の通り支所として対応すべき」と地域住民の不安を解消するために賛成討論をしました。

高津支所は、建物の老朽化により緑が丘駅周辺へ移転するという計画が進められ、その一方、9月定例議会で「支所機能の一部をもつ連絡所の設置を検討」との答弁がありましたが未だ検討中のままです。

高齢化社会のなか、高津東洋会やローズタウンの方々にとって、コミュニティーバスもなくなる中で、団地内に連絡所ではなく、支所が残ることを強く望んでいます。



## 福祉との連携により市民サービスの向上を

八千代市の「支所」と「連絡所」は、戸籍住民課が担当する施設なのですが、他市の状況では、船橋市は「出張所」と「連絡所」で国保と年金の取り扱いに差があり、習志野市は一律「連絡所」ということで戸籍住民関係の取り扱いを行っています。佐倉市は「出張所」、「派出所」、「市民サービスセンター」という窓口があり、市民課、市民税課、健康保険課などの業務が混在しています。

八千代市の現状として、戸籍住民課が福祉関係の相談を受けることによる負担増、市民側からは満足できる相談が受けられない可能性も考えられます。

日本共産党は、このような問題を解決するためにも、八千代市の出張窓口で複数の課が連携し、より良い市民サービスが提供できるよう12月定例議会で要望しました。